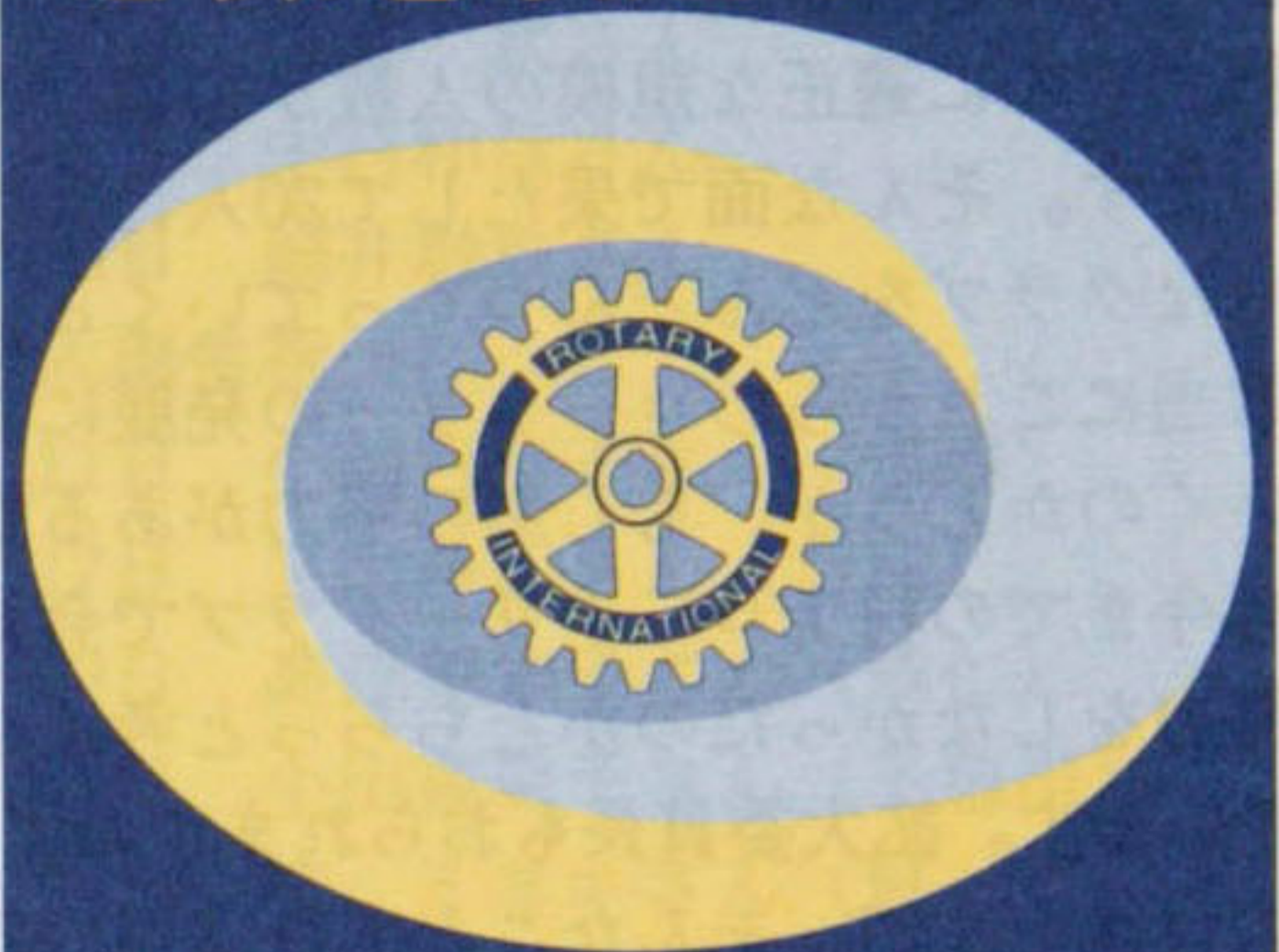


意識を喚起し



進んで行動を

私達の使命は…

…私達のクラブ

…地域社会

そしてあまねく広く世界において

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー——吉田昭平
会長——斎藤弘文
会長エレクト——五十嵐昭一
副会長——松谷昊吉彦
幹事——丸山行彦
副幹事——清水良一
S A A——荻根沢隆雄
副 S A A——中村和彦

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店内
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	72名中 55名
先々週出席率	84.06%

ヴィジター

三条南より
大久保秀男さん

ゲスト

自衛隊新潟地方連絡部長 1等陸佐
池上均様

先週のメイクアップ

3/22 加茂へ
渡辺喜彦さん

3/25 村上岩船

チャーターナイトへ

斎藤弘文さん、丸山行彦さん、
広岡豊作さん、松谷昊吉さん、
五十嵐昭一さん、平原信行さん、
渋谷正一さん



3/26 三条南へ
古澤富雄さん、捧賢一さん、
長谷川有美さん、斎藤隆さん
3/27 三条北へ
五十嵐総一さん、相場亮嗣さん

会長挨拶

斎藤弘文会長

ゲストの大久保さん、ようこそおいで下さいました。ごゆっくりおすごし下さい。

卓話をお願いしました池上さん、ようこそおいで下さいました。ありがとうございます。

先程のニコニコBOXにありましたけれども、林先生が東京の仕事がまだ当分終わらないということで残念だけれども、これ以上皆さんにご迷惑かけられないから、いったん退会させて頂きたいという申しでがありました。また仕事の関係で三

条に戻られたら、ぜひ皆さんともう一度一緒にやりたいという事でした。万やむをえずお受けしたわけです。

この日曜日に村上岩船のロータリークラブの認証状伝達式がございまして、三条クラブから7名で出席してまいりました。

たまたま拡大委員長が我がクラブの広岡さんでございまして、壇上での広岡さんの姿をみておりますと自分達も誇らしく思いながら式典に参加させてもらったわけです。

30名で発足したわけでございますけれども一生懸命やっている姿に大変感銘を受けたわけでございます。

たまたま祝賀会になりましたら、やはり土地柄というんでしょうか、一寸意外だった事は、その式典にその地区選出の県議員の方が2名参加しておったことです。その来賓の挨拶が二人の県議員の方が挨拶ということでおやと思ったのは、私だけでなかったのではないのでしょうか。考えてみますと、その県議員さんの権威がその地区にはあるのかなとそんな気がしました。

また最初の挨拶に立った方が村上なんとかかんとか言いまして、最後にライオンズクラブのと言っておわてていや間違いましたと言っておられましたけれども、来賓の方がロータリークラブと言わずに、ライオンズと紹介したのもちょっと爆笑をかったです。

考えてみますとよくある事として、結婚式なんかも固有名詞の間違いというのはよくある事でございます、我々も気をつけなければと思いました。

30名の発足ということでございますけれども、今さら考えてみますと、確かに会員拡大だとか、増強という事は大変な仕事だと思いますが、あの様に会員を拡大するとなかなかできないわけですから、新しいクラブをつくりましますと、簡単に20人~30人と集まってくるという事は、どういうことかなという事をもっと真剣に考えてみる必要があると思われまします。

同じ村上地区から岩船と2つの名前がでておりますが、やはりその地域から新しいクラブを作りましたら、いっぺんに30名の新会員が増えてしまいます。村上のまへのクラブはどうかというと、そう増えず昔のままにきているということですので、このへんをちゃんと考えないとほんとうの意味の拡大は難しいのではないかと、そんな気がしました。

今、国は一生懸命、市町村合併をすすめて、なんとか地方自治体を大きくしようと躍起になってやっておるわけです。三条、燕の問題も大変関心

事であるわけですが、ロータリーだけがどんどん小さく分割して行って、国の方向と違うような気がしてなりません。現実には隣の見附が今大変な赤字をだすということで、会長は大変な苦悩の中におるわけです。

それはどんどん退会者がでておるわけです。クラブを維持するのに適正な規模の人数が必要なわけでございます。そんな面を果たして20人、30人という小さなクラブをどんどんつくっていくという事は、本当にこれからのロータリーの発展につながっていくのかどうか、もしあの努力があるならば、なぜ今までの村上ロータリークラブで会員を増やす努力をしなかったのかとちらっと考えたわけでございます。拡大委員長もおられますので、これ以上言いませんが、そんなこともひとつの考え方としてやっていく必要があるのではないかと、そんな気がしてならなかったわけです。大変手前がってな変な挨拶になってしまいましたけれども、そんな事をこの日曜日に考えさせられたことをご報告しまして、挨拶とかえさせていただきます。

幹事報告

丸山行彦幹事

◎例会変更のお知らせ!

- 三条南——4月16日(月)夜例会
於 巻ワイナリーカーブドッチ
- 三条北——4月24日(火)夜例会
於 三条ロイヤルホテル
- 加 茂——4月12日(木)花見例会
於 加茂産業センター
- 燕 ——4月19日(木)
4クラブ合同観桜会 於 魚政
- 見 附——4月26日(木)夜例会 於 つるや
- 田上あじさい——4月17日(火)夜例会

4月のお祝い



◎会員誕生祝

- 3日 高橋 司さん
- 17日 藤田紘一さん
- 22日 佐藤 武さん
- 25日 中村和彦さん
- 26日 細井増雄さん

◎夫人誕生祝

- 11日 小越百合子さん(憲泰)
- 17日 丸山静江さん(行彦)
- 23日 高森美知子さん(章仁)
- 23日 小出喜美子さん(子恵出)
- 24日 捧 ミヨエさん(賢一)

◎結婚記念

- 4日 丸山行彦さん
- 4日 斎藤 隆さん
- 4日 成澤敏明さん
- 5日 渡辺宏策さん
- 6日 渡辺喜彦さん
- 7日 船越正夫さん
- 10日 吉井俊介さん
- 11日 中村和彦さん
- 11日 橘 直樹さん
- 22日 松谷昊吉さん
- 22日 斎藤 弘さん
- 23日 藤田説量さん
- 26日 川又嘉瑞範さん
- 29日 日戸平太さん
- 29日 山田富義さん
- 29日 古澤富雄さん
- 29日 石塚欣司さん
- 29日 相場亮嗣さん

◎100%出席賞

- 5年 斎藤 隆さん
- 1年 早川昭雄さん

ニコニコBOX



斎藤弘文さん

3月25日、村上岩船ロータリークラブの認証状伝達式に参加し、その夜瀬波温泉の大観荘に泊り楽しい思い出を作る事が出来ました。

丸山行彦さん

ゴルフ場の名門中の名門川奈ゴルフコースでプレーをしてきましたが、スコアはやっぱりだめでした。

広岡豊作さん

村上、岩船クラブの認承状伝達式に出席して来ました。地元ロータリアンのご苦勞に頭が下がります。

五十嵐昭一さん

村上岩船ロータリークラブ認証状伝達式に参加し、帰りに会長、幹事さん他6人のメンバーといろいろ楽しいディスカッションを致しました。

平原信行さん

村上、岩船RC認証式につれていっていただきました。私は日帰りでしたが…。

樺山 仁さん

昨日、商工振興交流会にて地場産業の再開発、業界の製販一体型の考え方について勉強してまいりました。

相場亮嗣さん

入会させて戴き、早くも2ヶ月です。メーカーにも慣れ三条南、北にも出席して参りました。

会田二郎さん

本日の卓話とっても楽しみです。

佐藤 武さん

都合に依り早退させていただきます。

川瀬康裕さん

春のやわらかさを感じるこの頃です。

加藤紋次郎さん

いよいよゴルフシーズン同好会の皆様へ第一回大会を楽しみにして下さい。

船越正夫さん

BOXに協力して。

林 光輝さん

三条ロータリークラブの益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。長い間、本当に有難うございました。いずれ三条に戻るとは思いますが、その時は再びご指導の程宜しく申し上げます。松木屋さんや二洲楼さんの美味しいお弁当が食べられなくなるのがとても寂しいです。

3月28日分 ¥ 23,000

今年度累計 ¥ 823,600

「自衛隊の危機管理」

自衛隊新潟地方連絡部長一等陸佐
池上 均 様

ご紹介にあずかりました池上でございます。

今日「自衛隊の危機管理」ということで、なぜこういうテーマを選んだかと申しますと、「えひめ丸」の森総理の事件でゴルフ場にお

ったということで、危機管理が問われたことで、ちょっと危機管理じゃないぞと思ったものですから、危機管理とはという事を話してみたいと思います。

「危機管理」とはクライシス・マネジメントという英語で言うと、クライシス、危機、管理とはマネジメント、危機をマネジメントするという事です。テポドンという所からテポドンというミサイルを打った話でございます。テポドンを打った時の図なんですけど、一番最初のページにあった護衛艦がありますけど、あれはイージス艦という護衛艦で打った時の所はわかっています。なぜわかったかといいますと、当然テポドンに燃料補給している液体燃料をつめていたというのがわかっているの、そろそろ打つのではないかということで、テポドンの方向にイージス艦を向けて見張っていた。東京湾にいるイージス艦が大阪湾にいる船の上からバスケットボールを投げたらそのバスケットボールをつかまえる能力があります。したがって日本海の舞鶴辺にいるイージス艦を北朝鮮に向けていけば、ミサイルの軌道状態がとれるということであります。この状態をわかったということよりも、事前にわかる情報を察知していたということが「危機管理」かなあと思うわけです。「危機管理」というのはどういう事かという本題にはいりたいと思います。「危機」というのは突然にくるから危機なのであります。突然にくるは「危機」とはいいません。教育の危機とか経済の危機とかなんてのは突然きたのではない。これは教育の衰退、経済の衰退といった方が日本語としては正しいのであります。危機とは予期せずに突然にくるといのが危機であります。

さてこのまえの「えひめ丸」の危機管理、あれは危機ではなく事故であります。英語でいうとアクシデント、事件となるとインシデントです。ところが最近事故であるにもかかわらず事件になってしまうというのがあるわけです。これが本来事

故であったものがトップの対応のまずさで事件になってしまう。これが「えひめ丸」の事件です。あれはトップの対応のまずさで事件になってしまった。元々事故である。

雪印乳業で毒素が入っていたという事で、毒素は洗浄しても消えないというものがわからず、又滅菌しても消えないということもわからず入ってしまったという事が起こってしまった。あれは事故が起こってしまったので、事件ではありません。ところがトップの対応のまずさで事件になってしまったのです。

さて「自衛隊の危機管理」というものはどういうものかと言いますと、クライシスマネジメントということであります。自衛隊法第6条に定められている自衛隊の行動が速やかに遂行できる、これが自衛隊の危機管理であります。行動とは防衛の他にこういう事があります。さて結論を言いますと自衛隊の危機管理の対応は半分は達成されている。すなわち50%は達成されていない。それは二つに分かれます。精神的な要素と行動の裏付けです。達成されている部分は精神的な要素であります。しかし防衛出動の場面における法整備は戦後55年を経過したにもかかわらず未整備です。

精神的裏付けの根拠といたしましては、自衛官は次の事を宣誓しているということであります。いろいろ書いてありまして最後の方に専心その職務の遂行にあたり、事に臨んでは危険をかえりみず身をもって責務の完遂につとめ、もって国民の期待に応えることを期するものとする。これは自衛隊法第52条に書いてあります。自衛官になりますとこれを宣誓します。国民の期待に応える事を誓いますと宣誓書を書きます。事に臨んではなにがあっても、危険をかえりみず死ぬかもしれないとわかっているんだけど、身をもって命をなげ出して責任、責務の完遂につとめる。まあなにかあったら死んでこいということであります。国家につかえるということを誓っているわけです。

以前にシルベスタースターローンの主演の「ランボー」という映画がありました。アフガンのアメリカ兵を救出しまして、上官がランボーになにかいいたい事があるかと言った時に、兵隊はもともと国家に対して忠誠を誓っている。国家はもっと兵隊を大切にしてほしいと言っています。もちろん自衛隊も国家に忠誠を誓っているのですから、隊員をもっとかわいがって下さい。

「行動の裏付け」未整備であります。自衛隊法103条、防衛出動時における物資の収納等であります。これは一例であります。都道府県知事は防衛出動時に物資を収容し保管を命じ、これらを収容する事ができる。医療とか、土木、建築とか輸

送とか、日通の何とか運送は戦争が始まったら逃げてはいけない。仕事をしなさいと命ずるわけです。そして最後に必要な手続は政令で定めるのであります。55年もたつてまだ政令ができていません。

昭和53年10月に福田総理が参議院の予算委員会で有事に自衛隊が任務を遂行する、その体制を検討するのはあたりまえだと、やっと昭和53年10月に発言されたわけです。委員会答弁ですね。以前に三矢研究というので自衛官がかってに有事の研究をしたいとって処分されました。のちに栗栖統幕議長が法律がないから自衛官は超国的行動で国を守るしかないという発言で金丸防衛庁長官から懲戒免職になりました。そういうことがあってこういう発言になったと思います。昭和56年4月研究対象の法令区分で防衛庁書簡の法令が第一分類だというのがわかりました。という程度です。

今年2月の森総理の演説で法整備を検討しよう、ついに始めて平成13年、24年間たつてやっと発言しました。ところがマスコミでは、いまさらなにが有事法制だという論評を言っている。それではどういう問題がおこるのかというと、たとえば損害保障の問題です。ビルを壊すといったら、そのビルの損害保障をどうするか、それから従事義務を命じますので、お医者さんは仕事をしなさいと、逃げてはだめですよと、従事を命じた時、お医者さん、看護婦さん、メンテナンスをやっている人に自費弁償あるいは損失保障、こういうのはどうするかという法律をつくらなければならないということです。

あと第2分類、防衛庁以外の書簡でこういうのを直さなければならない。まず道路交通法、道路法、高速法というものを直さなければなりません。例えば自衛隊の戦車にはウィンカーがありません。ウィンカーを出さずにまがった場合は、道路交通法違反になります。土地の収容で新潟県の海岸に陣地を築きたいと思っても、海岸法とか河川法とか自然保護法とかで、許可申請をしないといけないとか、戦死者を埋葬するにもいろんな手続をしなければならない。

同じようなことが阪神淡路大震災でありました。非常に革新的な神戸という所ですから、大勢の方々がお風呂に入れないでこまっておりますので、自衛隊が全国の部隊から5,000~6,000人はいれるお風呂を用意したわけです。ところが神戸市役所の役人がとんで来て、浴場組合法、公衆浴場法というのがあるからだめだと、誰が許可したのか、市に申請をしなさい、非常事態ですからといってそれはダメです。

話は変わりますが、能登半島不審船事案という

のがあります。これは能登半島でなく佐渡沖です。自衛隊発足以来のはじめての海上での整備行動という事をやりました。不審船を発見してから12時間後に行動命令がでました。いかにシベリアンコントロールが立派かよくわかります。すぐに逃げられました。防空識別圏以降は追う事ができません。警告射撃と対戦爆雷を投下しました。これも当たらないようにです。国民は不満が残るでしょうが、現在の法律ではこれが現実です。国民に不満が残らないように法整備をしなければなりません。

憲法9条と国民、国防義務というのがあります。いろんなことがあるわけですが、これも危機管理だということでお話します。

憲法9条というのは、戦争を永久に放棄すると書いてあります。前項の目的を達成する為の陸、海、空軍の戦力はこれを保持しない、自衛の戦争の為の武力は保持していいんだというふうに解釈されています。これは最高裁の砂川判決で裁判は終わっています。でも一般的に普通の人達は軍隊をもたないを書いてあるので、自衛隊はおかしい、なんか陸軍の事を陸上自衛隊と言ってみたり、大佐のことを一佐と言ってみたり、日本は戦後ずっと言葉でだましてきたなと思うわけです。私も一生懸命法律を勉強して調べてみました。刑法というのがあります。憲法の下に自衛隊法があるように刑法があります。刑法第81条に外患誘致というのがあります。外国と通牒して日本国に対して武力行使させた者には死刑に処する。これは今の刑法です。「よど号事件」は戦後30年たつてこの前の重信房子なんか、55才になって手を上げたりして、ちょっとかっこう悪かったですが、革命家は最後までアラブで死んでほしかったですね。「よど号事件」は革命をおこそうとしたわけです。これは外国に通牒して日本国に対して武力を行使したら死刑です。こわいのは刑法82条、外官援助というのがあります。「日本国に対して外国から武力の行使があった時にこれに加担して、その軍務に服務し、その他これに軍事上の利益を与えた者は死刑又は無期、もしくは2年以上の懲役に処する」と書いてあります。これは外国からの武力の行使があった時にということは、刑法上では日本という国は戦争がおこるとことをいっているわけです。戦争があった時、相手の軍隊に対して軍務に服務したり、相手の軍事上の利益、水を与えたり、道案内をしたり、土地を使わせたり、ガソリンをやったりしたら死刑です。すなわち国民は全員、国を守る義務があるんですよということが書いてあります。ちなみに自衛官が敵前逃亡した場合は、懲役7年以下の刑に処すると書いてあ

る。怖くなったら国民でいるより自衛隊員の方が
と思います。

これで「自衛隊の危機管理」ということがわかつたか
と思います。あと10分位になりましたが、日本国が滅びる
可能性があるとすれば、防衛庁か文部省か、大蔵省か、
いろいろあると思うのですが、一番可能性のあるのは
教育問題だと思います。

教育というのは、ボディブローのようにきいてくる
んです。直にはきいてきません。教育の危機ということ
はない、教育の衰退です。それは10年、20年、30年
後に日本国を滅ぼす可能性がでてきます。個人の尊重
ということばかりいわれて、学校の権限というのがど
んどんなくなっています。教育というのは、強制力だ
と思います。これは赤だ、これは青だ、いや我が家は
これを緑と教えているとはいいません。通常強制しま
す。赤い色をみたら赤だという強制をします。お客が
来たら、「こんにちは」と言いなさい、言わなかったら
頭をぽんとたたきます。これが強制です。ところがい
ま強制という言葉は、文部省とか教育関係ではほん
とうに忌み嫌うんです。自主、自立の精神をもって、
自発的に理解させようとか、そうではなく強制でな
くはならない。一番感じることは、あれほど荒れて
いた高校生が自衛隊に入って3ヶ月でしっかりする
んです。我々が強制力をもって指導するんです。自衛
隊に入ってきた子供に対して、髪を切れと部隊長が
言います。誰一人反抗しません。今自信のない親が
増えたとか、強制できない親が増えています。友人の
ような親子でありたいとか、子供の自由を認めてや
りたいとか。私が防衛大の指導官をやっている時、
たった1週間でやめたいという子がおりました。そ
の子をみると去年も筑波大を1ヶ月でやめている。
それで1年浪人して防衛大に入学しました。たった1
週間です

よ。これはダメだと思い、親をよんで徹底して言
いました。お母さんが私に対して言いました。先生
の言われることは良く解りますが、子供がいやだ
と言っています。いやな人生を送らせるほど無理
な親ではありません。こんな親が子供をダメに
するんです。

次に社会教育の欠如です。今他人の子供をし
かることはこわくてできません。いつ刺されるか
わかりません。私でもこわい、これが社会教育
です。なんとか社会教育で他人の子供を叱ること
ができるようにならないといけないと思います。次
に吉田松陰の話が最後にあります。吉田松陰は29
才で京都の処刑所で打首になります。牢屋に入
った時一晩で29才の青年が牢名主の席を取った
のです。そしてもとの牢名主が吉田先生に私は
ならず者で終わった、先生のようにまっとうな
人間になるにはどうしたらいいんだと聞いた時、
吉田松陰は次のように言っています。まっとうな
人間を育てるには、1つは身のまわりをきれい
にさせよ、2つめは時間を守れ、3つめは礼を
させよ、この3つをさせればまっとうな人間
になるだろう。まさにこれを行っているのが
自衛隊の新隊員の教育であります。それから
哲学の欠如です。会社も同じだと思います。
皆さんはトップクラスになられて、これから
後進に道をゆずる時、やっぱり37.8才の
子が哲学をもっているか、理念があるかとい
う事ですね。反対するにしても、その反対
に対する覚悟がなければならぬ。そのへん
の社会的哲学の欠如が問われているのでは
ないか。もうすこし日本は成熟しなければ
いけないのかなと思います。一番私が言
いたかったのは、教育問題、それから危
機管理、ほんとうの危機管理はそんなも
んじゃありませんよ、これで終わります。

どうもご清聴ありがとうございました。

例会案内

三条RC	4月11日例会	旬例会	於 岩室温泉 綿々亭 綿屋
	4月18日例会	卓話「ワインの話」	中村商店 社長 中村新太郎様

メイクアップをどうぞ

三条南RC	4月9日例会	通常例会	
	4月16日例会	旬例会	於 巻ワイナリーカーブドッチ
三条北RC	4月10日例会	会員卓話	
	4月17日例会	会員卓話	
加茂RC	4月12日例会	花見例会	於 加茂市産業センター
	4月19日例会	会員卓話	
燕RC	4月12日例会	通常例会	
	4月19日例会	夜の例会	4クラブ合同観桜会
見附RC	4月12日例会	会員卓話	
	4月19日例会	会員卓話	